

1. 件名：
東京大学大学院工学系研究科原子力専攻の防災訓練実施結果報告書（案）の説明について
2. 日時：
令和4年3月24日（木）10時00分～11時00分
3. 場所：
茨城県原子力オフサイトセンター 原子力防災専門官事務室
4. 出席者：
原子力規制庁東海・大洗原子力規制事務所
関谷原子力防災専門官、宮下上席放射線防災専門官
東京大学大学院工学系研究科原子力専攻
技術専門職員
5. 要旨
東京大学大学院工学系研究科原子力専攻より、防災訓練実施結果報告書（案）の説明を受けた。
主な内容は、以下のとおり。
 - (1) 訓練実施日
令和4年1月14日（金）
 - (2) 訓練想定等
 - ・ 2部制訓練
(第1部：警戒事態までの訓練
第2部：施設敷地緊急事態及び全面緊急事態に至る総合訓練)
 - ・ 火災を起因として、放射性物質が管理区域外に放出され、原災法第10条及び第15条に該当する事象が発生
 - (3) 主な訓練成果
 - (第1部訓練)
 - ・ 現場指揮者を中核にし、発災現場における緊急措置（負傷者に汚染拡大防止措置を施し、安全な場所への搬送、除染）を適切に実施した。
 - (第2部訓練)
 - ・ 原災法第10条、第15条事象の発生を、FAXにより迅速に送信した。
6. その他

原子力規制庁からは、緊対所内での情報の整理・共有のための参考事例（ホワイトボードの事前準備）を提供し、緊対所勤務員の人数や経験に左右されずに緊急時対応が出来るような工夫をするように助言した。

配布資料：なし